

AIDSを生きる

— 真実の目々 —

監督 山口 巧

キャスト

沖田 浩之
新田 昌玄
斉藤 美和
中村 洋子
 (新人)
神野 光
千葉 吉弘
大野 貴保



製作総指揮

山村 晋平

脚本

高際 和雄

株式会社 フィルム・クレッセント

エイズを生きる

— 真実の日々 —

脚本 高際和雄 監督 山口 巧

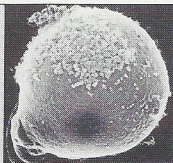
●製作意図

エイズ感染者はキャリアと呼ばれ、感染後普通7～8年で発病、その後3年以内に75%の人が死亡するというデータがあります。

これまでエイズは、あまりにも「死」のイメージとともに語られすぎたのではないのでしょうか。しかしエイズウィルスに感染した人たちは今も「生きています」。日本でも今後、エイズ感染者の数は確実に増え続けるであろう。

だからこそ今の私たちにほんとうに必要なのは、エイズ感染者と共にエイズ時代を生きてゆくには、エイズに怯え、感染者を「死を運命づけられた人」として排除するのではなく、私たち一人一人が「エイズとは何か」を理解しなくてはなりません。そしてその真実に目を向け、〈共存〉という視点から考えねばならないのではなからうか。

この映画は、今こそ「エイズとは何か」を、又、その真実をこれからのエイズ世代に伝えるために、そして周囲の人たちがエイズ感染者をどのように見、どのように接していったらいいのかを考えていただくために製作したものです。



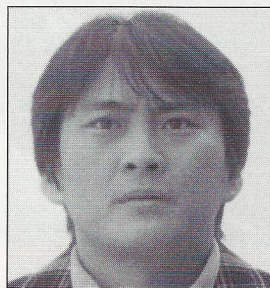
■あらすじ

広告代理店に勤務し、将来を期待されエリートコースを歩んでいた三田村裕二（沖田浩之）は、近々結婚することが決まっていた。会社の同僚・津山耕二（大野貴保）からも「いい機会だからAIDSの検査をうけてみたら」と勧められ、病院に同行し検査を受けた。

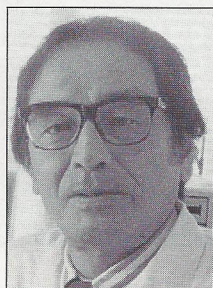
後日、病院に結果を聞きに来た裕二に医師・宮川（新田昌玄）は三田村裕二本人であることを確認の上、検査結果が陽性だと告げた。「スクリーン検査以外にもウエスタンブロット法を行ったが、間違いなくHIVウィルス——ヒト免疫不全ウィルス——に感染している」といわれ、信じようとする裕二に対し医師・宮川はさらに言葉を続けた。「大学時代あなたは海外をヒッチハイクし、交通事故に会い輸血をうけました。その時HIV感染者の血液がそのまま輸血に使用され、その結果あなた自身もエイズウィルスのキャリアになってしまったということです」と……。裕二は絶望的になり「エイズ=死ぬんだ」という死刑宣告をうけた気分となり不安が襲ってくるのであった。そして放心したように夕暮れの街を彷徨い続けた。

数日後裕二は、婚約者である北沢真由紀（中村洋子）をタクシーに乗せ、分けも言えぬまま病院で血液検査を受けさせるのだが、遂に不信をまねき真由紀を憤慨させ二人の仲に深い溝ができてしまう。又、勤め先のオフィスに本社してみると、社内のふん意気が変わっているのに気づき、同僚の津山を屋上に呼び、エイズ検査結果を知っているのか探ってみるのだが…。

キャスト



沖田浩之



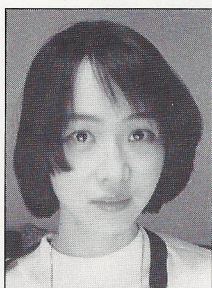
新田昌玄



斉藤美和



神野 光



中村洋子
(新人)

| | | | | | | |
|------|------|-------|------|-------|-------|------|
| 千葉吉弘 | 浅利佳寿 | 井上 慧 | 井口佳久 | 井上智子 | 阿部 泰子 | 山本千智 |
| 大野貴保 | 外園昭治 | 盛 哲也 | 鈴木秀明 | 曾根原千恵 | 太田祐梨花 | 川地紫葵 |
| 真田侑子 | 世田一恵 | 須藤悠太 | 稲田俊二 | 田村和利 | 秋葉真木子 | 新谷直子 |
| 山本淳子 | 鈴木啓仁 | 辻 絵美子 | 高橋 悠 | 福田晃敬 | 村野 慧 | 金村規代 |
| 小室明子 | 栗田隆佑 | 斉藤美代 | 樋口里美 | 米川英和 | 大森麻衣子 | 中谷夕子 |
| 堀江崇子 | 木村 光 | 角田良則 | 近藤淑子 | 吉田成樹 | 志村ゆずは | |

ブライアン・ユル
アラン・シンツ
あすなる俳優養成所
劇団あすなる

スタッフ

| | | | | | | | | |
|-------|------|--------|-------|------|-------|------------|-----------|--------------|
| 撮影 | 佐野哲郎 | 録音 | 永口 靖 | 選曲 | 山川 繁 | 協力 | 日本コダック | 福島音響 |
| | 森 英男 | 美術 | 落合亮司 | 作 | 小倉 靖 | 東京都立衛生研究所 | 東京現像所 | 落合プロ |
| | 川崎清仁 | | 山澤克明 | パレエ | 山下真智子 | 国立予防研究所 | 日本照明 | 菁 映 社 |
| タイミング | 森 隆吉 | | 鎌田正宏 | パレエ | 杉野 剛 | エグザス下北沢 | | |
| 照明 | 森谷清彦 | スクリプター | 津谷康子 | パレエ | 松村和順 | TOKYOZA | | |
| | 内田浩策 | 編集 | 大高 勲 | パレエ | 磯部 健 | ダンスエバートメント | プロデューサー | 監 修 |
| | 小川大介 | | 富永美代子 | 製作主任 | 磯部 健 | 東京グリーンホテル | 瀬沼勝彦 | 医学博士 山口 剛 |
| 録音 | 深田 晃 | | 井上孝子 | デスク | 鍋田 広一 | 醍醐院 | 協力プロデューサー | (都立駒込病院感染症科) |
| | | | | | | 工バタ電気商会 | 相澤 徹 | 製作総指揮 山村晋平 |
| | | | | | | 高橋惣十郎 | | |
| | | | | | | (福浦漁業組合) | | |

©1994年 AIDSを生きる あすなる映画